

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
キャリアプランニング1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	志鎌克彦/下條慧/小保方ひなの			実務 経験	有	職種	ディレクター				
授業概要											
この講義では学生のスクールライフにおいて学校について知っておくべき事柄を周知すると共に、「人」として信頼されるような礼儀作法やマナーをクラス担任が伝えていく。日々当たり前になってしまっている事柄をひとつひとつ言葉の意味を解きながら説明することにより、その作業をする意義を学生たちが気づくよう、道徳のニュアンスを持たせながら説明していく。特に日々自分自身を振り返ることに軸を置いており、自分自身を顧みることにより俯瞰的な目線を持つようになる。これらを毎週3行の日記形式で手書きさせて提出させ、担任との意思疎通と学生状況の把握に繋げていく。またレポートなどで自分の気持ちを自筆で文字にするという機会を増やすことにより、将来的に就職活動で履歴書に記述することの抵抗を減らしていく。											
到達目標											
この講義では学生それぞれが社会に出る上で必要な自信をつけることを大切に、学校生活を通じて社会性を身に付け、社会で受け入れられる礼儀作法を習得することに重点を置く。挨拶をする意義を学び、現場で挨拶ができることが当たり前になるよう指導をしていく。またマナーや礼儀は自分のためではなく、周囲にいる相手に対して行うことであることを理解させ、普段から身だしなみや言動に気を遣え、人に愛される現場人として活躍できる社会人を育成する。就職・インターンシップ情報を周知し、将来に繋がる学生生活が送れるようサポートするほか、3行日記の実施により文字を書くことに対する抵抗を失くし、エントリーシートや履歴書に自分の気持ちをしっかりと表すことができるようにする。											
授業方法											
通年を通してPower Pointを使用した視覚に訴える講義を展開し、必要であれば紙資料を配布する。グループワークを取り入れて他の学生との情報共有を行える環境づくりを行う。これにより1対1でテーマに応じて話すことに慣れ、面接対策に繋げていく。基本的に社会人として立ち居ふるまえる指導を行うため、挨拶や言葉遣いは厳しく指導を行っていく。キャリアサポートブックを活用し、1年次からは自己分析や振り返りの意義を伝え、自分自身を俯瞰的に見る視点を養う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会に出れば交通機関が乱れようとも仕事に遅れないことが基本であるため、その認識を高める。また一般常識問題に関しては知らない単語や言葉が出てくるともしばしばあり、その日分からなかったことは講義にあたる担任に確認したり、自ら調べることを怠ってはいけない。コミュニケーション力を重視するため、仲が良い学生だけではなく普段関わりの薄い学生とも交流を持ち、視野を広げること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	クラス内で自己紹介を実施し、出身地や出身高校、趣味などからクラスメイトのことを知る										
第2回	なぜ挨拶をするのか、挨拶をすることで人間関係がどのように変わるのかを学ぶ										
第3回	人の悪口を言うてはいけない理由、人と話す上で大切にすべきことをポイントにして学ぶ										
第4回	これまでの自分がどのように人生を過ごしてきたかをレポートにし、自分自身を俯瞰的に見つめる										
第5回	専門学校に進学した理由を今一度考え、卒業時の自分の姿を設定する										
第6回	設定した目標に到達するために自分がこの2年間ですべきことを行動年表にする										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
キャリアプランニング 1	
第7回	ミュージックアーティスト科で設定されているコースの概要を知り、後のコース選択に活かす
第8回	ライブ映像を視聴して、感じたことをレポートにしてまとめる
第9回	作成したレポートを元に、他の学生とディベートを実施する
第10回	試聴したコンサート映像について感じたことをまとめ、全体で発表する
第11回	レポートを書くということがどのようなことかを再確認する
第12回	現場に必要な「メモ」の取り方を、言葉を理解するところから知り、自己の成長に活かす
第13回	基礎実習を終えた上で、卒業時点での目標を再設定する
第14回	第6回で作成した行動年表を見直し、目標に向けてのプロセスを再確認する
第15回	全体のまとめ